



交通安全・あいさつ運動キャンペーンがありました。

7月11日(火)の朝、「交通安全・あいさつ運動キャンペーン」が行われました。保護者や地域の皆様、地区市民センター職員の方々、駐在所のおまわりさんなど、水沢地域に関わる皆様で、子どもたちの登校を見守っていただきました。「手をあげて横断歩道を渡る子」「大きな声であいさつを返している子」「下級生の様子を、後ろを振り返りながら気にしている子」、さまざまな子どもたちの登校の様子を見ることができました。

朝の忙しい時間帯に、子どもたちの登校の様子を見守っていただき、本当にありがとうございました。改めて地域の皆様に、子どもたち一人ひとりが大切にされていることを実感することのできる時間となりました。



人権学習合同授業（3年生）がありました。

7月7日(金)、3年生は午後から乗り合いバスで小山田小学校へと向かい「メディア・リテラシーと人権」というテーマで、小山田小学校の3年生と一緒に人権学習の合同授業を受けました。両校合わせても40人に満たない1学級分の人数です。反差別・人権研究所みえ(通称:ヒューリアみえ)の職員の方に合同授業をしていただき、「自分や友だちを大切にするインターネットとの付き合い方」について学びました。

学校でもタブレット端末を使い、授業で調べ学習等に使うことが日常的になってきました。全国的には、スマートフォンを持つ小学生が増え、オンラインゲームやSNS、メールのやり取りを行うことによるトラブルも起こっています。授業では、情報機器活用によって、子どもたちに身近で起こりそうな事柄について考え合いました。

本校の子は、行きのバスの中では元気で無邪気になかまと話していたのですが、グループでのやり取りになると、学校では見せないおとなしい姿を出していました。いつもと違う学習環境であり、少し雰囲気に圧倒されてしまったのかなあとも感じました。それでもみんな、最後には打ちつけて「きょうは楽しかった」と言ってくれ、お別れの時には、小山田小の子たちと元気に手を振り合っていました。

今回の授業は、四日市市の小規模校対策事業とも絡め、学校間移動による合同交流授業として行われました。4年後に同じ西陵中学校に通う子どもたち同士が同じ授業を受け、意見を述べ合うことで、一人ひとりが、大きな深い気づきを持つ貴重な時間となりました。



1学期の終業式を行いました。

校長から、1学期の終業式において、次のような話を子どもたちにしました(概要です)。

1学期の始業式、入学式に、皆さんに「あいさつをしっかりとしよう」「なかまのことを大切にしよう」「人の話をしっかりと聴こう」と3つのお願いをしました。毎朝、皆さんの登校の様子を見てきましたが、「おはようございます」と、目を見てあいさつしてくれる子がたくさんいました。笑顔で穏やかにあいさつが交わせると、すがすがしい1日のスタートがきれいです。これからも大きな声であいさつのできる水沢っ子でいてほしいと思います。1学期は上級生がしっかりと下級生の面倒を見てくれていました。そんな、人を思いやる優しい場面にふれるたびに、私はとても温かい気持ちになりました。

明日から夏休みに入ります。長い夏休みだからこそできることに挑戦し、思い出深い夏休みにしてほしいと思います。夏休みはタブレットを持ち帰ります。自分のペースで学習ができるように、『こにゅうどうくん学びの部屋』や『ドリルパーク』が利用できるようになっています。夏休みの自由研究で調べたり、写真を撮って資料作りをしたりするのもいいでしょう。どんどん使って、操作に慣れるようにしてください。最後になりますが、安全で規則正しい毎日を過ごし、身体を元気に保つことがウイルスや熱中症から身体を守ることにもつながります。夏休み中、くれぐれも健康に気をつけ、交通事故等にあわないように、よく注意をして毎日を過ごしましょう。9月1日(金)の2学期始業式には、全員が揃って、元気な皆さんに会えることを楽しみにしています。